



株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜わりまして厚く御礼申し上げます。

2020年度上半期の業績やトピックスなどをご報告いたしますので、是非ご覧いただきたく存じます。

当期の業績及び配当について

当社グループの当上半期の連結業績につきましては、後述の「業績のご報告」でご説明いたします通り、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により各事業において需要が大幅に減少したことなどから、売上高は前年同期に比べ1,680億円減収の7,764億円、営業損益は前年同期に比べ345億円悪化の271億円の損失、経常損益は前年同期に比べ367億円悪化の352億円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損益は、前年同期に比べ89億円悪化の152億円の損失となりました。

2020年度の連結業績見通しにつきましては、自動車向けの需要の回復などにより、素材系事業を中心に大幅に減少した販売数量が第1四半期を底として徐々に回復する見通しであることに加え、固定費削減を中心とした緊急収益改善策などにより、上半期に比べ下半期の収益は改善するものと想定しております。しかしながら、未だ先行きが不透明な状況にあり、厳しい需要環境が続くものと見込まれることから、売上高は1兆6,500億円程度、営業損益は150億円程度の損失、経常損益は350億円程度の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は150億円程度の損失となるものと予想しております。

こうした状況から、すでに公表しております通り、当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ながら見送る

ことといたしました。株主の皆様には、多大なご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。事情をご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

収益・キャッシュフロー改善策

今後につきましては、厳しい事業環境を考慮し、当面は設備投資を中心とした投融資を厳選して支出を抑制し、収益改善策として、労務費や保全費などの固定費圧縮を中心とした緊急収益改善に加え、素材系を中心としたベースコスト改善や拡販などにより、550億円規模の収益改善に取り組んでまいります。また、キャッシュフロー改善策として、棚卸資産の削減など運転資金改善、資産売却、設備投資の繰り延べなどにより、1,400億円規模のキャッシュ対策にも取り組んでまいります。加えて、更なる固定費削減や追加のキャッシュフロー対策について、引き続き聖域なく検討・実行し、財務体質の健全化を最優先課題として取り組んでまいります。

今後の取組みについて

過去に類のない厳しい事業環境に直面しておりますが、当社グループが持続的成長を成し遂げていくためには、現実を真摯に受け止め、私たち経営陣が先頭に立って、変化を恐れずに改革を進めていく必要があると認識しております。

喫緊の課題である素材系事業の収益力強化については、販売価格の改善や固定費の削減、拡販などによる収益改善に取り組むとともに、将来の成長性を睨んだ生産体制の再構築などの検討を進めてまいります。

加えて、本年4月に実施した素材系事業の組織改編のメリットを最大限に活かし、ものづくり力やお客様へのソリューション提案力の強化など将来に向けた取組みを進めてまいります。

また、重要な社会課題であるCO<sub>2</sub>排出削減については、当社グループの生産活動における排出削減に取り組むだけでなく、独自の技術・製品・サービスを通じて、社会の様々な分野で使用段階でのCO<sub>2</sub>排出削減に貢献してまいります。

代表的な取組みとしましては、本年7月に鉄鉱石生産の世界最大手であるヴァーレ社及び三井物産と、世界の鉄鋼業界向けに低炭素鉄源及び低炭素製鉄ソリューションの提供に向け、共同して検討することに合意しました。今後、世界の鉄鋼業界のCO<sub>2</sub>排出削減という社会課題の解決に貢献するべく、本取組みを推し進めてまいります。

電力事業についても、経済性に優れた電力を長期安定的に供給するとともに、下水汚泥燃料化からのバ

イオマス活用による低炭素化などを進め、地域社会、地球環境に貢献し、安全・安心で豊かな暮らしを実現してまいります。

このほかにも、自動車の軽量化を実現する素材、製造現場での省エネルギーに資する圧縮機などの機械製品を数多くご提供することで、企業価値の向上と社会課題の解決を目指してまいります。

「グループ企業理念」に基づくサステナビリティ経営の推進は、次期中期経営計画も見据えた継続的テーマです。株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様にとってかけがえのない存在となるよう、社会課題の解決に挑み、新しい価値を創造し続けることが、当社グループの使命であり存在意義であると考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますとともに、当社グループをご支援いただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2020年12月

グループ企業理念

KOBELCOが実現したい未来	KOBELCOの使命・存在意義	KOBELCOの3つの約束	KOBELCOの6つの誓い
「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて、実現したい社会・未来	KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命	KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観	「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範
安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。	個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつづける。	1.信頼される技術、製品、サービスを提供します 2.社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3.たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します	1.高い倫理観とプロ意識の徹底 2.優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 <b>品質憲章</b> 3.働きやすい職場環境の実現 4.地域社会との共生 5.環境への貢献 6.ステークホルダーの尊重

